

畑町ガーデン放課後等デイサービス自己評価表

作成 平成30年4月

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点等
	①	利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切であるか。	○			今後、放課後等デイサービス専用棟を建てより充実した活動場所を提供する。
	②	職員の配置数は適切であるか。	○			
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮がなされているか。			○	専用棟を建て、段差などの危険箇所を最小限にしバリアフリー化を図る。
	④	業務改善を図る為のPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		○		毎日のミーティングの中で目標設定や振り返りを行っているが、個別支援計画会議を行い、より細かな目標設定や振り返りを行う。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施し、保護者等の意向等を把握し、業務改善につげているか。	○			ガイドライン別添の保護者向け評価表を基によりわかりやすい言葉に変え、また次年度に考えている活動や取組みに対する意見を求めたり、前年度の取組みに対する評価をいただいたりしている。
	⑥	この自己評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか。			○	この自己評価より公開する。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			○	今後取り入れる予定である。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。	○			各部署合同の職場内研修や放課後等デイサービスの職場内研修、外部研修の機会も設けている。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			今年度よりアセスメントシートを取り入れ、ニーズの把握に努めている。今後はより精度を上げるため、職員間で話し合いながら進めていく。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。		○		独自のアセスメントシートを使用している為、より客観性が高まるよう発達スケールなどを組み込んでいきたい。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			

⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			季節に応じた活動を考え提供している。
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめこまやかに設定して支援しているか。		○		
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	○			
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。			○	職員の退勤時間が異なるために実施できていない、翌日のミーティングで振り返りをしているという現状である。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。		○		毎日のミーティングで振り返りを行っているが十分とは言えない現状である。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	○			半年に一度モニタリングを行っている。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか。		○		さまざまな活動を組み合わせ試行錯誤している段階である。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか。			○	
㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。		○		学校によっては保護者を通じて情報を得ることもあるが、こちらから伺うことやトラブル発生時に状況報告や改善策の報告などを行っている。
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。			○	医療的ケアが必要な子どもの利用はない。
㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。			○	
㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		○		同法人内の他事業所への移行の場合、情報提供や必要に応じてケース会議を行っているが、他法人への移行の場合は行うことができていない。
㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。			○	
㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか。		○		散歩等で公園に行った際に地域の子どもとの関わりをもつことがあるが、積極的に取り組んではいない現状がある。

27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。		○		
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			連絡帳と送りの際のやり取り、個別支援面談において情報共有を行っている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。			○	
30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			
31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			
32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。			○	
33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。		○		体制の整備について話し合うことがこれまでなかったが、現場の長の判断で迅速に対応している。
34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○			3ヶ月に一回発行している。
35	個人情報に十分注意しているか。		○		十分注意しているが、改めて情報共有する機会が必要である。
36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。		○		それぞれの意思疎通のツールを用いてコミュニケーションを図っているが、十分ではないと感じることもあるため、今後方法人の取り組みとはなるが、納涼祭の共催、自治会への部屋の提供、地域の子どもたちに向けた柔道教室の開催などを行っている。
37	事業所の行事に地域住民を招待するなど地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。		○		どちらも策定しているが、周知に関しては十分ではない部分もある。
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行なっているか。		○		毎日利用者が異なる環境下で各曜日ごとの避難訓練はできていない。
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保するなど、適切な対応をしているか。	○			外部研修への参加はもちろん、職場内でも定期的に研修を行っている。
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		○		契約時に重要事項説明において説明をしているが、身体拘束を必要とする利用者が今のところはいない。

④②	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。			○	保護者とのやりとりにおいてアレルギー症状や除去食の有無などについて共有しているが医師の指示は受けていない。
④③	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか。			○	毎月事例をまとめて会議資料で共有している。今後はミーティング等で共有、検討していくことも考えていく。